



社会新報

(岡山県連合版)

2013年3月1日

(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1

Tel.03-3592-7515 1部180円月700円千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp.okayama@helen.ocn.ne.jp



右:伊原木知事 左手前:谷村顧問、奥に武本幹事長と手渡しているのが福島代表

「要望書」5項目26事項の要旨

- 1 福祉...公共介護施設の増設、入所待機者ゼロ 福島被災者の県内避難者支援
- 2 労働...正規雇用促進、最賃1000円実現、公務員賃金カットの改善、介護・深夜従事者待遇改善
- 3 防災...自治体防災対策、弱者避難対策、ライフライン対策、液状化・堤防嵩上げ対策
- 4 環境...メガソーラー・小水力発電推進、団地の買物難民・公共交通、アスベスト、原発ストップ要請 オスプレイ飛行訓練中止要請
- 5 教育...教育労働者の増員、勤務状況改善、不登校対策、週6日制の考え方 など

伊原木知事は、「選挙では結果的に一部の政党推薦となったが、出来るだけ広く、県民党としていくのが理想とされている。要望書には大事なことが書かれている。一部の利益代表でなく、どこに住んで、どんな仕事の人でも、岡山に住んでよかつたといえる

以上に参加、平和の折鶴を折りながら「国際社会が自制を求める中で繰り返された暴挙を厳しく批判、「だめなもの」はだめ」と訴えた。事務局は13日、金正恩国防第一委員

に込めた想いを説明した。改善」を求める、「要望書」に込めた想いを説明した。

平和は市民一人ひとりの行動から

核実験抗議座り込み岡山市民の会は2月24日、北朝鮮の3回目の核実験に抗議する座り込みを行った。1984年に始まってからこの日251回目となった。久しぶりに暖かい日差しのおかげ、岡山西川緑道公園・平和像前には、昼休みの時間を利用して参加した市民や労組、団体など35名



左:伊原木県知事

県新年度予算要望で伊原木知事に申入れ

党岡山県連合は2月13日、知事会議室において伊原木岡山県知事に2013年度予算への要望を行った。党からは福島代表・武本幹事長・矢吹野崎副幹事長と谷村顧問が出席、武本幹事長から「平和憲法を土台として、県民のくらしに最も身近で、福祉・教育・産業・労働・環境など、県政各分野の諸問題の早急な改善」を求める、「要望書」

ように常に考えている。税収を増やし5年くらい経ってよくなっているよね、といえる岡山へ、やさしい気持ちや思いやりを持ってようにしていきたい」と語った。

7月参院選は平和の党の存亡をかけて

だからこそ党員一人ひとりが社民党を!

昨年末の衆院選総括を次の参院選の戦いにいかすため、県連合でも次の行動につなげる議論を深めている【7月参院選の戦い】

先の全国連合代表者会議では、比例区改選2、党の存亡をかけ、改憲の動きに1矢射るために比例区目標3人300万票以上、中国・九州ブロックで1の得票実現に全力を挙げる。

【党県連合の活動】毎週の書記局会議で当面の活動や経過報告・課題などを議論。また、代表以下15名の常任幹事会を月1回開催を基本に、県全体の運動にしていこう心がけ、各委員会なども開催。この間(2月中旬に)の主な活動は、日本原基地撤去県民集会(2/11)、伊原木知事への2013年度予算要望申入れ(2/13)、街宣・ポスター活動(新見2/14・真庭2/27)、財政委員会(2/12)、各種共闘参加など、連日活動をつづけている。



北朝鮮の核実験に抗議の座り込み!

2・11反核・軍縮・日本原基地撤去を求める岡山県民集会が2月11日、県北奈義町で開かれ、時折小雪が舞うなか16団体220名が参加した。主催者を代表して福島捷美共闘会議議長は、「昨年末の衆院選で大勝した自民・安倍政権は、原発を推進し、自衛隊予算を11年ぶりに増額憲法改悪、自衛隊を名実とも軍隊にし、「戦争のできる国」にしようとしている。7月参院選は安倍反動政権に立ち向かう大切な選挙となる」と訴えた。(矢吹)

2・11日本原反基地岡山県民集会



奈義山を背に挨拶する福島共闘会議議長

remember 3.11
ウォーク&トーク
 2013年3月10日(日)
 10:00~16:00
 10:00岡山公園集會
 出発→西山交差点
 下石井公園献花台
 トーク13:00 パブテス
 ト教会(西川沿い)
 下石井公園では有機生活マーケット市を開催
 主催:子ども未来・愛ネットワーク

*詳細別途ご案内のとおり

「新報」読者会
 3月12日(第2火) 18時

弓之町「時事問題懇話会」
 3月15日(第3金) 18時

いずれも同じ場所
 社民党県連合会議室

金 環(皆既)日食に沸いた宇宙のロマンから一転、まるで映画のシーンを見るようなロシアでの天空を引き裂く隕石落下の映像には驚かされた。地球には、小さな隕石は一年間に数千も降り注ぐといわれるが、今回の規模は100年に1回くらいとか。それでも被害の程度は奇跡というべきか▼自然の災禍を避けるには限りがあるが、先人の経験や歴史にまなぶことで減らすことは出来る。原発事故は人間がもたらした災禍であり、環境や次の世代まで影響は計り知れない。3・11は自然の前に科学的誠実さで向き合うことの大切さを教えた▼いま3・11を覆い隠し、「安全神話」を新たな装いで糊塗している。「戻ってました」と原発が「金のノレン」をくぐるのではないよう「さよなら原発」と送り出さねばならない(哲)